

# 命をつなぐ 救急隊

「家族の様子がおかしい…」いざというときの119番通報。通報の向こう側では、通報を受けた救急隊員が救急車で現場に駆け付け、命を助ける処置（救命処置）を行い、大切な人を守っています。今回は、命の最前線で活動する「救急隊」を紹介します。



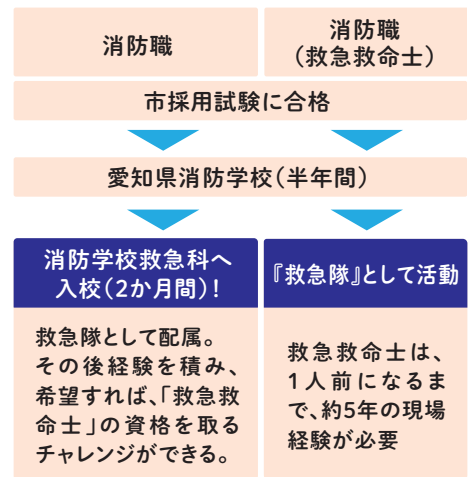
〈訓練の様子〉

## Q 『救急隊』には どんな人たちがいるの？

A 救急車に乗っている救急隊員は、消防士です。消防職員には、火災や災害の現場に消防車で出動する消防士と、救急車に乗って出動する消防士がいます。

消防署で出動件数が最も多いのは救急隊です。突然倒れた人やけがをした人はもちろんのこと、交通事故などさまざまな災害が起きた時に、いち早く出動し、病院へ運びます。その中には、「救急救命士」が一緒に乗り、病院へ運ぶまでの間、命をつなぐための救命処置を行っています。

### 救急隊になるまでの道のり



消防署東出張所  
救急救命士 竹下成美

「救急救命士」とは：突然倒れたり、けがをした人などを救急車で病院に運ぶまでの間、必要な救命処置を行うことができる国家資格です。

救急救命士は、人の命を救う非常に大きな使命と責任のある仕事ですが、だからこそ、病院へ運んだ人の無事が確認できた時の喜びはひとしおです。後日、「ありがとう」と元気な姿で会いに来てくれたときは、本当にこの仕事をやっていて良かったと思える瞬間です。



《訓練の様子》

## Q ↓ 救急隊が できることは？

**A** すぐに手当をしないと生命の危険がある状態の人に、AED<sup>※</sup>(自動体外式除細動器)を使った電気ショックや人工呼吸、点滴を行うなど、さまざまな救命処置を行います。

※「AED」とは：体中に血液を送れない状態のときに、電気ショックを与えて、元の心臓の動きに戻すことができます。

## Q ↓ 市内に救急車は何台あるの？どのくらい出動しているの？

**A** 救急車は、市内6か所にある消防署に合計9台が配備されていて、一番現場に近い救急車が出動します。

令和2年の実績



※119番通報は、救急車を呼ぶことその他、火災や救助なども含まれます。

### MEMO

119番通報を受け、救急車が現場に駆けつけるまでの平均時間

全国 約 9分 春日井市 約 7分

**Point!** 1分1秒でも早い対応が命を救うことにつながります。




### 救急車の豆知識①



## Q ↓ 救急車はなんで白いの？

昭和9年、日本赤十字社が使った日本で初めての救急車が白色だったためです。また、法律により、緊急車両のうち消防車は赤色、その他の緊急車両は白色と定められているためです。

 世界の救急車は、色もデザインもサイズも実にさまざまです。ぜひ調べてみよう！

### 救急車の豆知識②



## Q ↓ 救急車のサイレンはなぜ「ピーポー」なの？

昔は、衝突事故などにあわないう、「ウーウー」というパトカーや消防車と同じ音が使われていました。しかし、この音が救急車で運ばれる人や周りの人を不安にさせてしまうことから、少しでも優しい音にするため、今の「ピーポー」になりました。

# 救急車の中をのぞいてみよう

救急車には、突然倒れた人やけがをした人を病院まで運ぶために必要な道具を、たくさん備えています。その中から主なものを紹介します。

救急車の中には  
人を助けるための道具がたくさん！



## ① せいたいかんし 生体監視 モニター

血液の流れや心臓の動きなど、体の状態をモニターで確認できます。



## ② さんそきゆうにゆうき 酸素吸入器

多くの酸素が入っている道具で、呼吸がしづらい人などに使用します。



## ③ メインストレッチャー

救急車の車内や病院まで運ぶときに使用する担架たんかで、ベッドとして使用します。



## ④ AED(自動体外式除細動器)

心臓が止まっているときに、電気ショックで動かすようにする道具です。

※AEDの特徴は3ページをご覧ください。

## 救急車の豆知識③



### より安全に、より早く！

救急車がサイレンを鳴らしながら、ゆっくり走っているのを見たことはありませんか。これは、突然倒れた人やけがをした人を安全に病院へ運ぶため、1人1人の体の具合にあわせて、救急車の速度を変えているためです。

また、緊急走行時の最高速度は、一般の道路で時速80キロメートル、高速道路で時速100キロメートルと法律で決められています。



# いざというときに、ぜひやりましょう！

いつでも、皆さんの大切な家族や友人が突然倒れたり、けがをするか分かりません。いざというときに、どのような行動が必要であるかを確認しておきましょう。

## ① 倒れている人を発見！

② 周りに車や自転車が来ていないか、木などが落ちていないかなど危なくないかを確認

③ 声のでる、動くなど反応があるかを確認

「大丈夫ですか!?! /」

両肩を軽くたたきながら呼び掛ける

※確認するときには、倒れている人の顔に近づきすぎないようにしましょう。



反応なし

または分からない

反応あり

倒れている人の話を聞き、119番にかけると、近くにいてる人に協力を求めましょう。

④ 大声で近くにいる大人に助けを求めましょう

「\ 助けてください! /」

〈忘れずに〉

- 119番にかけましょう
- AEDを持ってきてもらいましょう



〈倒れている人を発見したら、すぐに119番にかけましょう。〉

**救急隊が現場に到着するまでの応急手当**が命を救うことにつながります。

## いざというときに役に立つ / 消防士から応急手当が学べます!

市では、消防士が教える「<sup>こうしゅう</sup>応急手当講習会」を行っています。家族や友達と一緒に「応急手当」を学びませんか。小学3～6年生は「救命入門コース」があります。詳しくは、市のホームページを見てください。



市ホームページ

## 救急車や救急隊の活動を動画で紹介

市公式YouTubeチャンネルでは、救急車の内部や救急隊の活動内容などを動画でもっと分かりやすく紹介しています。ぜひ、見てください。



救急車を探検しよう!!



救急隊の活動内容が分かる訓練動画を紹介します!!